

はじめに

子どもたちが、生涯にわたって、健康・安全で幸福な生活を送るための資質や能力を育て、心身ともに調和のとれた発達を促すことは、学校教育の重要な目標の一つです。

災害はいつ・どこで発生するか分かりません。昨年3月11日に発生した東日本大震災では、これまでの想定をはるかに超えた巨大地震・津波によって広い地域で甚大な被害が発生し、多くの尊い命が失われました。このような中でも、日ごろの徹底した防災教育により学校の管理下にいた全ての児童生徒が生き抜いた地域があったことから、改めて学校における防災教育の重要性が認識されたところです。

本県においても、南関東地震や県西部地震など大規模な被害を伴う地震の発生が想定される中、東日本大震災を教訓として各学校の防災マニュアルや学校安全計画の見直しなど、新たな対応が求められております。

県教育委員会では、平成17年に作成した「学校における防災教育指導教材」を平成22年に改訂し、子どもたちが災害についての正しい知識と的確な判断力を身に付け、地域の特性に応じて適切に行動できるよう、各学校の指導にご活用いただいております。

そして、東日本大震災を受け、学校における防災教育のより一層の充実を図るため、津波防災に関する指導資料及び実際の津波の映像や被災地の写真等を収録したDVD教材を加え、改訂版として作成しました。

各学校において、本指導資料が各学校での指導の充実のために広く活用され、子どもたちの防災対応能力の育成の一助となれば幸いです。

平成24年3月

神奈川県教育委員会 教育局
教育指導部 保健体育課長
小野 力